

RES100 リサーチ入門 (J)

1年 1,2クォーター

担当教員 伊藤 勇

授業形態 講義

単位数 2

曜日・時限 火曜日・4時限

授業概要

ソーシャル・リサーチ（社会調査）の基本的事項に関する解説を通して、社会科学系における実証的な調査研究の意義と役割，社会調査の論理と方法，調査研究の倫理等についての基礎的理解を得ることを目指す。講義で取り上げる事項は，社会調査の意義と用途，社会調査の歴史，社会調査の諸類型，社会調査の倫理，量的調査と質的調査，社会調査の進め方，社会調査の方法と実際（観察とインタビュー，公式統計等の利用，調査票調査，サンプリングの考え方，質問文・回答選択肢等の作り方，分析と解釈）などである。

到達目標

- ・社会科学における実証的な調査研究の意義・役割を理解する。
- ・社会調査の考え方や主要な方法について基礎的な理解を得る。
- ・調査研究の倫理について基礎的な理解を得る。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

教科書：平松貞実『事例で読む社会調査入門』新曜社。

参考書：大谷信介ほか『新・社会調査へのアプローチ』ミネルヴァ書房，
谷岡一郎『データはウソをつく—科学的な社会調査の方法—』筑摩書房など。

授業の方法

講義形式の授業だが，一方通行の授業を避けるため，受講者全員に毎回短い感想メモを提出してもらう。また，毎回数名ずつコメントーター役を割り当て，授業内容についてコメントおよび質問を準備させた上で，10～15分程度の質疑応答を行う。

成績評価

成績評価には，①毎回提出する授業の感想メモ，②コメントーター役を割り当てられた回に提出させる小レポート，③中間レポート，④期末レポート，計4種類の提出物を用いる。

成績

修学態度 (①+②)	20%
中間レポート (③)	30%
期末レポート (④)	50%

授業スケジュール

第1回： ガイダンスおよび序論

授業の概要・進め方・成績評価法の説明

序論：社会調査（ソーシャル・リサーチ）とは，社会調査の意義と用途

第2回： 社会調査の諸類型

目的，方法，データによる社会調査の分類と著名な調査実例の紹介

第3回： 量的調査と質的調査

量的調査法および量的データの特長と限界，質的調査法および質的データの特長と限界，
量的調査・データと質的調査・データとの相補性

第4回： 社会調査の進め方

社会調査の諸段階：企画，設計，実査，データ化，データの分析と解釈，調査報告の作成と公表

第5回： 社会調査の方法（1）

観察（参与観察，非参与観察）とインタビュー（構造化，半構造化，非構造化），研究事例の紹介

第6回： 社会調査の方法（2）

公式統計の利用価値，実際の利用法，利用に当たっての留意点

第7回： 社会調査の方法（3）

調査票を用いた調査（アンケート調査）の特長と利点，活用例と留意点

第8回： 世論調査の実際から（1）

調査票の代表例としての世論調査，サンプリングという考え方，調査における様々な「誤差」について

第9回： 世論調査の実際から（2）

質問文における表現や質問順序と「誘導」の問題

第10回： 世論調査の実際から（3）

回答形式・選択肢の作り方における諸問題

第11回： 世論調査の実際から（4）

世論調査をどう読むべきか，結果の表現と解釈における留意点

第12回： 世論調査の実際から（5）

世論調査と現代社会，メディア社会の中の「世論」と世論調査

第13回： 社会調査の歴史

統計調査の起源，近現代における社会調査の展開，日本の社会調査小史

第14回： 調査研究の倫理について

社会調査の成立条件，調査における人権尊重，説明に基づく同意，研究不正を防ぐには

第15回： まとめと課題

全体を振り返り調査研究の「基本の基本」を再確認
期末レポートの課題説明

事前・事後学習

- ・ 予習：教科書および参考資料の該当する章を予習しておくこと（1時間程度）。
- ・ 復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。